

建設工事競争入札参加資格制度の見直しについて

平成22年8月24日
京都府建設交通部
指導検査課
075-414-5225

京都府公共調達検討委員会（委員長：^{ごうはらのぶお}郷原信郎名城大学教授）からの提言を受け、平成23年度建設工事競争入札参加資格審査において、主観点及び資格等級区分（いわゆる「格付」）を下記のとおり見直します。

記

1 目的

『技術と経営に優れ、誠実で成長志向を持ち、安定して地域に貢献できる』企業を積極的に育成していくことを目指します。

2 見直しの方向

- 【1】技術力や経営力、地域貢献をしっかりと評価し、優良な企業にインセンティブを与える格付を行います。
- 【2】安定して地域に貢献する優良な企業が、引続き活躍できるよう受注機会の確保を図ります。

3 見直し内容

（1）主観点の拡充

以下の主観点項目を追加または見直し、主観点合計点数を拡充します。

満点(合併による加算点を除く)平成23年度 160点 (参考:H21:120点,H22:140点)

追加
見直し

「労働災害防止団体法」第8条に規定する建設業労働災害防止協会京都府支部への加入 (10点)

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第14条第1項に規定する不当要求防止責任者の選任届出及び講習受講 (10点)

既に加点対象としている「建設機械運転技術者雇用」について、加点基準を拡大

（2）等級区分と発注標準の見直し

等級区分を大括りし、併せて建設工事の発注標準の見直しを行います。

土木一式は現行7等級を6等級、ほ装、造園は現行4等級を3等級

土木一式の等級区分に合わせ発注標準の額を見直し

平成22年度まで2カ年にわたり実施した、平成20年1月の経営事項審査制度の見直しに伴う「激変緩和措置」は終了します。

見直し概要(案)【土木一式の例】

発注標準及び等級区分点はあくまでも現時点での想定です。平成23年度資格認定時の実際の経審総合評定値の状況により変更となることがあります。

現行			新制度		
等級	等級区分点	発注標準	発注標準 (参考値)	等級	等級区分点 (参考値)
Aa	870	40百万円	45百万円	S	900
A1					
A	800	25百万円	25百万円		830
B	760	15百万円	10百万円		760
C	720	6百万円			680
D	680				
E					

7等級

6等級